前のページへ
次のページへ

東海地震に備えるために 防災訓練に参加しましょう

昨年落合小学校で行なわれた総合防災訓練

富士見町では住民生活に甚大な被害を及ぼすおそれのある大規模な災害に対処するため、平成七年の梅雨前線豪雨災害など過去の大規模な災害の経験を教訓に、町、県、その他防災関係機関及び住民がそれぞれの役割を認識しつつ、お互いに連携し総合的かつ計画的な防災対策を推進することにより、かけがえのない住民の生命、身体及び財産を災害から守ることを目的として、「富士見町地域防災計画」を定めています。

日本全土を震撼させた阪神・淡路大震災によって、私たちは自然の脅威を目のあたりにし大きな衝撃を受け、防災がいかに大事か再認識させられました。防災対策や災害に強いまちづくりは、行政だけで達成できるものではありません。

住民一人ひとりが、「自分の命、家庭、自分の町は自分で守る」という自主防災意識をもっていただき、お互いに協力しあって地域全体を守っていくことが、被害を最小限に食い止めることになります。

東海地震はマグニチュード8クラスの大地震で、いつ起きても不思議でないといわれています。ひとたび発生すれば震度6強から7になり、激しい揺れが1分ほど続くほか地域によっては液状化の発生や、高さが5m以上で斜面の傾斜角度が30度以上ある急傾斜地、地すべり防止区域等では山・がけ崩れの危険があります。また、建物の倒壊被害や死者・負傷者も阪神・淡路大震災を大きく上回ることが予想されています。

災害発生直後に地域の人々と協力して、救助のプロが到着するまえに救出され助かった事例が多く報告されています。

日頃から災害に備えて、家庭内や地域で話し合いを持つのも大事ですが、地震発生時の火災を防ぎ、もし火災になってしまった時に初期消火で消し止めることが大切です。その為にはいざという時に役立てられるように、日頃から消火器や地域の消火栓の扱い方等の練習をしましょう。

町では町内の小学校通学区域単位で防災訓練を実施することとし、平成15年度は落合小学校で実施しました。今年度は主に境小学校の通学区に住んでいる町民の皆さんに参加していただき、地元消防団のご指導による消火栓の取扱い方・ホースの延長等の操作について実際に体験していただきます。また、消防署員による消火器の扱い方や消火訓練装置を使用しての初期消火訓練も実施します。

その他にもテント内に煙を充満させて火災時の煙の中を通過するものや、災害時に被災地の電話がつながりづらくなると稼動するNTTの災害伝言ダイヤル（伝言を入れて家族や本人の安否の確認に利用する）を実際に行っていただきます。救急救命士の指導により心肺蘇生法の体験や高所からの救助救出訓練の見学ができます。災害時の非常用食料を日赤奉仕団のご協力をいただき炊出しをしてもらいますので、試食して下さい。

今後町では本郷小学校、その次に富士見小学校の順番で防災訓練を実施していきます。

いざという時に備えて地域での防災訓練に積極的に参加しましょう。

平成16年度富士見町総合防災訓練のお知らせ

町では東海地震など大災害に備えて、平成16年度防災訓練を次のとおり実施します。いざと言うときのために訓練に参加して、初期消火の方法、応急手当の方法などを学び、災害に備えましょう。大勢の皆さんの参加をお願いします。

日　時：平成16年9月4日(土)
　　午前7時45分から
　　午前10時30分

場　所：境小学校校庭
　　（雨天の場合体育館に変更する事もあります）

対　象：葛窪・先達・田端・池袋・信濃境・高森・小六などの境地区の皆さん

持ち物：各家庭の非常持ち出し袋、軍手などの手袋、頭を保護するヘルメット等

＊参加できる訓練＊

応急救護訓練：応急手当の方法を体験します。（心肺蘇生法）

炊出し訓練：非常食の炊出し、試食をします。

情報伝達訓練：NTT伝言ダイヤルの操作を体験します。

初期消化訓練：消火栓・消火器等を使用し体験します。

＊見学する訓練＊

富士見消防署による救出救助訓練

▼問い合わせ先
総務課管財係
☎62-9325
(有)9325